

科目名	ウエディングセレモニー論B						
科目名(英)	WEDDING CEREMONY						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダルにおける職種毎の業務内容(打ち合わせ・手配・準備・当日)を学び、挙式や披露宴のコンセプトの作成法を身に付け、お客様に合ったブライダルアイテムの選定が出来る力を付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル業務(新規~成約)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(手配業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(当日業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				挙式・披露宴でのコンセプトシートを作成しアイテムの提案ができる。	
○	○				ブライダルアイテム(料理・衣裳・演出・装花)を知り説明する事ができる。		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	LESSON1~3 前期の復習			1年次の復習をしておくこと		
	2	LESSON4 コーディネーター業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	LESSON4 コーディネーター業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	LESSON5 打合せ業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	LESSON5 打合せ業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	LESSON6 コンセプトシートについて①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	LESSON6 コンセプトシートについて②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	LESSON6 コンセプトシートについて③			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	LESSON6 コンセプトシートについて④			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	LESSON6 コンセプトシートについて⑤			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	LESSON7 手配業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	LESSON7 手配業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	LESSON8 当日業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	まとめ・最近のブライダル業界について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	後期試験対策			14コマまでの復習をしておくこと			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎回小テスト(筆記)を実施する。(3)レポート提出(理解度確認)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	レポート提出	◎	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ウェディングプラン演習						
科目名(英)	WEDDING PLAN						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウェディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ウェディングプランナーとしてお客様に見積もりを作成できるように、税率の計算や婚礼商品の理解を深めプランニング方法を学び、お客様の希望するテーマに合わせた提案ができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					婚礼商品を知り説明する事ができる。	
	○					結婚式における見積もりの特性を知り説明する事ができる。	
	○	○				消費税や奉仕料の計算法を知り、正確に計算できる。	
	○					見積もりを作成するための必要事項を学び説明できる。	
	○	○				新郎新婦の要望に合ったプランニングをし提案及び説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	2020ブライダルのお仕事 ・ ゼクシィ ・ ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	新規接客におけるプランナーの役割				ブライダルのお仕事「職種紹介」について読んでおく	
	2	顧客心理(式場を選ぶポイント)・カップルの特性				なし	
	3	見積もり比較(3社分の見積もりを比較する)・会場毎の違い				前回の計算プリントの見直し	
	4	婚礼商品説明①(挙式)				前回の計算プリントの見直し	
	5	婚礼商品説明②(料理・飲物・ケーキ)				前回の計算プリントの見直し	
	6	見積もりの基礎「奉仕料・消費税の計算について」				前回の計算プリントの見直し	
	7	婚礼商品説明③(ペーパーアイテム)				前回の計算プリントの見直し	
	8	婚礼商品説明④(衣裳)				前回の計算プリントの見直し	
	9	婚礼商品説明⑤(引出物・引菓子)				前回の計算プリントの見直し	
	10	婚礼商品説明⑥(衣裳)				前回の計算プリントの見直し	
	11	婚礼商品説明⑦(演出)				前回の計算プリントの見直し	
	12	打合せ①(アンケートに基づいた新規接客)				来館アンケート作成・前回の計算プリントの見直し	
	13	打合せ②(アンケートに基づいた新規接客)				前回の計算プリントの見直し	
	14	見積もり作成・コンセプトシート作成				前回の計算プリントの見直し	
	15	コンセプトシートに基づいたプランニング発表				発表資料をまとめておくこと	
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。(2)宿題・レポート提出(最終課題) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	レポート(見積もり)提出	◎	◎		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、レポート提出の資格を与えない。						

科目名	ブライダルメイクB						
科目名(英)	Bridal make B						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	武田 真希		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ヘアメイク・着付け・エステ		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	前期に学んだヘアメイクの基礎知識をもとに、ブライダルの現場においてお客様にヘアメイクできるような知識と技術を身につける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ベール、ヘッドドレスなどをバランスよく付けることができる	
	○					顔のパーツごとにブライダルに相応しいメイクを施すことができる。	
		○				ホットカラーやコテを使ってヘアスタイルを綺麗につくることができる。	
		○				メイク・ヘアを時間内にトータルで綺麗に仕上げることができる。	
	○						
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダルにおけるヘアメイクの基礎知識					
	2	メイクを人に施す上での基本理論、実践(ポイントメイク)				前回のプリントを復習しておくこと	
	3	メイク実践				前回のプリントを復習しておくこと	
	4	ヘアアレンジ(基礎)				前回のプリントを復習しておくこと	
	5	ヘアアレンジ(応用)				前回のプリントを復習しておくこと	
	6	ヘッドアクセサリ・ベールの使い方				前回のプリントを復習しておくこと	
	7	ヘアアレンジ(応用)				各自練習しておくこと	
	8	トータル仕上げ、評価				各自練習しておくこと	
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		70%
	復習実技テスト		○		◎		30%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、単位を与えない。演習が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	ブライダルフラワー I B						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	東 まゆみ		
	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・1年						
授業概要	前期に学んだ生花の取り扱い方法を実践し、行事に合ったアレンジや、ブライダル装花が作れるようになる。ブーケ、ブートニアの成り立ちを学ぶ						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△					ブーケ、ブートニアの起源についてお客様に説明できるようになる	
		○				ダーズンローズの形式のセレモニーの流れを学ぶ	
	△					ブーケの形、ドレスとの組み合わせ方を学ぶ	
		○				ラウンドブーケを作れるようになる	
		○				クリスマスや正月に合わせた行事の花のアレンジができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブーケ、ブートニアの成り立ちについて学ぶ				ブライダル装美と演出のブーケのところを読んでおくこと	
	2	ブーケの起源に基づいて『ダーズンローズ』のセレモニーを実演する					
	3	1,2回目の授業小テスト/ブーケの形と特徴を理解する				1,2回目の授業復習をする	
	4	3回目の授業小テスト/ブーケの特徴から似合うドレスの組み合わせができるようになる				3回目の授業復習をする	
	5	4回目の授業小テスト/ラウンドブーケについて/行事の花材料準備				4回目の授業復習する	
	6	クリスマスの花アレンジ作成					
	7	お正月の花アレンジ作成					
	8	ラウンドブーケ作成					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する (2)実技の作品発表						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(4回)	◎	○				40%
	発表・作品		◎				60%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ブライダル衣裳						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15時間	担当者	三輪 美玻留		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	フリーウエディングプランナー ドレスショップ		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ドレスコーディネーターとして知っておきたい婚礼衣裳のトータルな基本知識を身につけ、特性を説明することができる。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習: △	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					衣裳の種類・名称など基本的な知識を身につけ、商品説明ができるようになる	
			○			ドレスのフィッティングについて学び、お客様に正しい着せつけができる	
		○				お客様のご希望やシチュエーションに合わせた衣裳について知識をつけ、適したご提案ができるようになる	
				○		実際のドレスショップの見学により、スタッフの態度を見聞することで、接客マナーを身に付ける	
テキスト・教材 参考図書	テキスト「ブライダルの装美と演出」第1章						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション・ドレスコーディネーターとは・衣裳のしくみ				(テキストP49-51)	
	2	ドレスの基礎知識(試着体験・ドレスラインやドレスの着せ方・構造・サイズについて)				試着ができる準備・テキストP2-8予習	
	3	ドレスの基礎知識(有名人のドレス知識・ブランド名やドレスショップの知識)				2回目授業の復習・テキストP10-19予習	
	4	ドレスの基礎知識(生地・小物の知識)シーンに合わせたご提案について				レポート①自身が着たい衣裳について提出・テキストP20-31予習	
	5	和装の基礎知識				テキストP34-43予習	
	6	メンズ衣裳(洋装・和装)・列席衣裳について				テキストP44-48	
	7	洋装・和装基礎知識(下着・お直し・クリーニングなど)・総括				授業の資料をまとめておくこと	
	8	ドレスショップ見学(TAKAMI BRIDALIにて)				レポート②ドレスショップ見学レポート提出	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	レポート提出	◎	◎		◎		40%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は単位をあたえない。ドレスコーディネーターはお客様の肌に触れる程、より身近な存在の立場の業種の一つです。普段の授業態度から、接客員の体質に慣れるように意識して受講しましょう。						

科目名	ブライダル接遇演習 I						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	島崎 満美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ウエディングプランナー歴18年 ドレスコーディネーター歴3年		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	社会人として好感を持たれる態度や話し方、社会人として求められる心構え・マナーを身に付ける。またブライダルカウンターにて、婚礼予約のカップルを来店からご契約まで担当することを想定し、一連の業務に必要な知識、話術、顧客対応の基本を学び、お客様の対応がスムーズにできるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		相手の立場になって考え行動できる。	
			○			シチュエーションによるお客様との会話ができるようになる	
	○	○				適切な敬語を使えるようになる。	
	○			○		好感の持たれる態度や話し方・聞き方ができる。	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会人としての心構え・式場、ブライダルスタッフとしてのありかた					
	2	身だしなみのマナー・基本動作					
	3	言葉遣い(敬語・					
	4	名刺の貰い方・渡し方・打合せ中の名刺(シチュエーション別)					
	5	来客対応(接遇の心構え・受付対応・案内の仕方)					
	6	来客対応(エレベーター内・お茶の出し方・担当者への受け渡し)					
	7	電話対応	電話の受け方・伝言メモの作成				
	8	電話対応	電話のかけ方				
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		50%
	復習実技テスト		○		◎		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	カラーコーディネート演習B						
科目名(英)	Color coordination exercise B						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	柴田 知子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	前期(カラーコーディネート演習A)パーソナルカラーの基礎を元に、パーソナルカラリスト検定3級合格の基礎作りをする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					色の三属性やCUS表色系を使って、検定問題に応用することが出来る。	
	○					パーソナルカラーの診断を活用し、検定問題を解くことができる。	
	○					パーソナルカラーを分類しメイクやファッション、インテリアなどの配色に活かすことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定3級テキスト・カラーカード・COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション・前期の復習(色の三属性)				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	2	前期の復習(CUS表色系)				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	3	パーソナルカラー診断応用①				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	4	パーソナルカラー診断応用②				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	5	検定問題①				課題プリント	
	6	検定問題②				課題プリント	
	7	検定問題③				課題プリント	
	8	まとめ					
評価方法	(1)課題プリント2枚配布。(2)定期テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題プリント	○			○		50%
	定期テスト	○	○				50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	レストラン・バンケット演習 I B						
科目名(英)	Restaurant service exercises						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	中村和雄先生		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	実習で通用する能力を身に付けるにあたり、料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でレストラン部門及び宴会部門に必要な什器備品の名称やサービス方法について学ぶ。また、この授業の成果を実習にて十分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					披露宴の流れやバンケットスタッフの業務を学び、正確に答えることができる。	
			○			バンケットスタッフに必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
	○					バンケットスタッフに必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	披露宴の流れとバンケットスタッフの役割			授業内容を復習しておくこと		
	2	円卓のテーブルセッティング、セッティング練習			授業内容を復習しておくこと		
	3	シャンパン・ワインについて			授業内容を復習しておくこと		
	4	バンケットサービス練習			授業内容を復習しておくこと		
	5	料理名称・調理方法について			授業内容を復習しておくこと		
	6	バンケットサービス練習			授業内容を復習しておくこと		
	7	婚礼に関わるデザートやお酒について			授業内容を復習しておくこと		
	8	バンケットサービス練習、正試験対策			正試験に向けて復習をしておくこと		
評価方法	(1)授業内での復習テストを実施する。(2)授業内で課題提出以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	復習テスト	◎		○			60%
	課題提出	○			◎		40%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダル産業演習 I B						
科目名(英)	Bridal Industrial exercise I B						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャブ テン(3年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界を知るために、和婚セミナーなど、業界人を招いての講義を行なう。 また、最新のブライダル情報を知るために、ブライダル施設を見学し、知識を増やして就職活動に役立てる。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="radio"/>	実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					ブライダル施設見学をし、ブライダル業界の知識を高める	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			結納の由来、歴史を学び説明できるようにする	
	<input type="radio"/>					ブライダル業界で活躍している先輩の話しを聞き、現場理解をする	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			神前式についての理解を深める	
テキスト・教材 参考図書	2021ブライダルのお仕事 ゼクシィ(福岡・佐賀版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダル業界の就職活動について					
	2	ブライダル施設見学					
	3	ブライダル業界現役スタッフによる講話(プランナー・プロデューサー業務)					
	4	結納について和婚セミナー講義					
	5	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ドレススタイリスト業務)					
	6	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ジュエリーコーディネーター業務)					
	7	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ホテルウエディング業務)					
	8	神前式体験(神前式の流れ)					
評価方法	(1)施設見学レポート (2)和婚セミナーレポート (3)ブライダル業界について課題提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	施設見学レポート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				40%
	和婚セミナーレポート	<input checked="" type="radio"/>			<input type="radio"/>		30%
	業界について課題提出	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				30%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	業界アルバイト(自由選択)						
科目名(英)							
単位数		時間数		担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年 2年						
授業概要	土日を中心に結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップ・ホテルでのインターンを実施、各実習先における挙式・披露宴当日の接遇を学ぶ。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					挙式・披露宴の流れ及び接遇を学び、お客様に接客することができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～	各式場・ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)実習ノート提出(出勤状況を記入・実習終了時の評価表)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意	12時間を1単位(以降も12時間毎)とし、8単位まで取得可能						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	合力 朱実		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治においての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、第3回実力テスト					
	2	ROUND11～13				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND14／15				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	ROUND16／17				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND18／19				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND20				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND11～15 まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	ROUND16～20 まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
評価方法	(1) 定期試験 (2) 宿題や課題 (3) 小テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI I						
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory IA						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	瀧口先生		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界への就職試験では、WEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、SPI非言語分野の頻出テーマをとりあげ、その解き方を学ぶ。また、近年多く実施されているWEBテストでの四則逆算問題対策として、この授業では四則演算を正確かつ迅速にできるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を学び、覚える。	
		○				各問題に対する基本的な解き方を覚えた上で、応用問題にも活用できる。	
		○				四則演算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
				○		SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を他者に対して説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	7日で行える！SPI必勝トレーニング、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	速さ(基本公式の確認・速さの変換)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	2	旅人算(出会い算・追いかかけ算応用問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	3	場合の数			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	確率			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	集合			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	仕事算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	代金精算・割引料金			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	8	損益算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	9	推論			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	10	図表の読み取り			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	11	順列・組み合わせ、確率			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	12	割合、集合			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	13	実践テスト ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	14	実践テスト ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
15	まとめ			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。			
評価方法	(1)実践テスト (2)課題・提出物 以上のものを下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実践テスト	◎	○		○		60%
	課題・提出物	◎	○		○		40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	PowerPointプレゼンテーション						
科目名(英)	PowerPoint						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田先生		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ビジネスの現場で必要とされる、プレゼン能力の向上を図ることを目的として実施する。PPの効果的な使用方法を学び、目的に応じたプレゼンテーションの資料を組み立て、作成できることを目指す。また就職活動のプレゼンにも対応できるようにする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			PowerPointの基本操作ができる(入力・表・グラフ・図解・イラスト)	
		○	○			目的に応じたプレゼン用資料を作成する	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)①					
	2	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)②					
	3	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)①					
	4	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)②					
	5	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)①					
	6	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)②				基本操作確認課題作成	
	7	プレゼン資料作成基礎①					
	8	プレゼン資料作成基礎②					
	9	プレゼン資料作成基礎③					
	10	プレゼン資料作成基礎④				プレゼン資料課題作成	
	11	プレゼン資料作成応用①					
	12	プレゼン資料作成応用②					
	13	プレゼン資料作成応用③					
	14	プレゼン資料作成応用④				プレゼン資料課題作成	
15	プレゼン最終課題作成						
評価方法	(1)基本操作確認課題提出 (2)プレゼン資料課題①提出 (3)プレゼン資料課題②提出 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		基本操作課題提出		○	◎		60%
		プレゼン資料課題①提出		○	◎		20%
		プレゼン資料課題②提出			◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。課題提出は〆切厳守。遅れての提出は日数に応じて減点とする。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	結婚式場・ドレスショップ勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・1年						
授業概要	ブライダル実習に向かって準備をし、就職ナビノートをもとに、就職活動の流れを学び、求職面接に合格する						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル実習のお礼状作成ができる	
		○				ブライダル実習用学生紹介シートの完成	
	○					求職票作成することができる	
				○		求職票受付面接の合格	
テキスト・教材 参考図書	就職ナビノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期目標設定・ホテル実習お礼状作成					
	2	ブライダル実習の意義・学生紹介シート下書き					
	3	学生紹介シート清書・ブライダル実習先企業研究					
	4	就職活動の流れ・自己分析					
	5	求職面接模範DVDを見て流れ、動作を覚える					
	6	求職票下書き					
	7	求職票清書					
	8	求職面接練習				グループごとに入退室の練習をする	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)ホテル実習お礼状作成 (2)学生紹介シート作成 (3)求職票作成 (4)求職面接合格						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	求職票面接合格	○			○		50%
	宿題・レポート				○		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ペン字						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	書道家として34年		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界に携わるにあたり日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する 正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することにより集中力をつける						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いで、自分の履歴書を書くことができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方、姿勢で書写することができる	
テキスト・教材 参考図書	日本メイクアップ技能検定試験公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用書① 氏名、実習のお礼状の書式	※3コマ目で 写真撮影が可		ボールペンの練習をしておくこと		
	2	ペン字基本 基本点画練習・筆順、基本			お礼状提出できるようにしておくこと		
	3	ペン字基本 字形の整え方(字形24体 片仮名)			筆順の復習		
	4	履歴書 履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと		
	5	履歴書 履歴書ペン書き、練習			履歴書の下書きを調べておくこと		
	6	履歴書 履歴書清書、求職票			履歴書のペン書きをしておくこと		
	7	実用書② 年賀状、はがきの書式			履歴書の清書提出できるようにしておくこと		
	8	実用書③ のし書き、芳名帳			求職票下書きを書いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する (2)課題(期日内提出)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○	◎				80%
	課題・提出物				○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ブライダル実習B						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	320時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	全国の結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップ・ホテルで8週間にわたって、ブライダル施設における就業体験を通して、より実践的な知識とスキルを習得する。また各県における業界のエリア特性も学ぶことで就職活動に活かす。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブライダルでの実践的な接客流れを学び、実際にお客様と会話することができる。	
		○				各県毎のエリア特性を知る。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～	各式場・ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)実習ノート提出(学生と現場スタッフによるコメント記入 実習終了時の評価表)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							